

コンサルタント等契約における QCBS及び一般競争入札(総合評価落札方式)での価格点計算式の変更 ／企画競争(QCBS含む)への上限額提示の試行導入について

2022年12月

国際協力機構
調達・派遣業務部

内容

1. 改善について
2. 価格点計算式の変更
3. 上限額提示の試行導入
4. その他（技プロのQCBS試行結果）

1. 改善について

従来のQCBSの課題として改善が求められていた「適正な価格点の算出方法」及び「応募者の主体的提案を可能とする方策」について、その改善策を取り入れ、技術協力プロジェクトへのQ C B S適用試行案件にて行いました（参照P8「4.その他」）。

その結果、ダンピング防止策や上限額の考え方の整理等の改善策を取り入れた上で、**QCBS及び一般競争入札（総合評価落札方式）について価格点計算式を変更**致します。

また、**企画競争（Q C B Sを含む）について上限額の提示を試行導入**します。

2. 価格点計算式の変更

- 対象となる調達方式：**QCBS及び一般競争入札（総合評価落札方式）**（以下、「総合評価」という）
- 導入開始：**2023年1月公示分より**
- 価格点の計算式を以下の通り変更。

【現在】 予定価格の80%額を価格点満点

【変更後】 最も安価な見積額を価格点満点とし、その他の見積はそこからの差異から価格点を計算。

ダンピング対策として、企画競争では企画競争説明書で提示する「上限額」、総合評価の場合は「JICAの予定価格（非公開）」の80%の金額を「下限額」とし、下限額未満の見積額は、下限額を見積額と見做して価格点を算出。

【例：企画競争説明書上の価格点の説明】

価格評価点は、①最低見積価格の者を100点とします。②それ以外の者の価格は、最低見積価格をそれ以外の者の価格で割り100を乗じます（小数点第三位以下を四捨五入し小数点第二位まで算出）。具体的には以下の算定式により、計算します。

①（価格評価点）＝最低見積価格＝100点

②（価格評価点）＝最低見積価格／（それ以外の者の価格）×100

ただし、ダンピング対策として、競争参加者が第3章4.（2）に示す上限額の80%未満の見積額を提案した場合は、上限額の80%を見積額とみなして価格点を算出します。

上限額の80%を下回る見積額が最も安価な見積額だった場合、具体的には以下の算定式により価格点を算出します。

最も安価な見積額：価格評価点＝100点

それ以外の見積額（N）：価格評価点＝（上限額×0.8）/N×100点

* 最も安価ではない見積額でも上限額の80%未満の場合は、上限額の80%をNとして計算します。

3. 上限額提示の試行導入

(1) 試行案件：企画競争（QCBSを含む）による公示案件。※**単独型及び総合評価は対象外。**

(2) 上限額の考え方：

契約交渉順位1位になった場合に、契約交渉時に別提案・別見積りを開封し契約に含めるか否かを協議します。

1) 共通事項： 上限額を超える提案は、別提案・別見積もりとします。また、業務の一部が上限額を超過する場合は、以下の通りとします。（**定額計上指示を超える場合も同様**）

①超過分が切り出し可能な場合：超過分のみ別提案・別見積もりとして提案します。

②超過分が切り出し可能ではない場合：当該業務を上限額の範囲内の提案内容とし、別提案として当該業務の代替案も併せて提出します。

（例）

セミナー実施について、オンライン開催（上限額内）のA案と対面開催（上限超過）のB案がある場合、プロポーザルでは上限額内のA案を記載、本見積にはA案の経費を計上、B案については、別提案においてA案の代替案であることがわかるように説明の上、別提案として記載し、B案の経費を別見積もりにて提出。

2) 上限額を超えた見積もりが提出された場合：

上限額を超えた見積りが提出された場合、同提案・見積りは企画競争説明書記載の条件を満たさないものとして選考対象外（失格）とする。

3. 上限額提示の試行導入

(3) 別見積もり（評価対象外）

価格競争の対象とするには不適と考えられる項目（評価対象外）は別見積もりとする。具体的には別見積もりは、原則として、以下のものに限定する。

- 1) 従来型企画競争：戦争特約保険料、安全対策経費、コロナ感染対策経費、航空賃、
上限額や定額計上額を超える提案に関する経費
- 2) QCBS：航空賃を除く、上記1)の経費

(4) 定額計上（評価対象）

契約締結時に契約金額にJICAが指定する定額を加算して契約するため、見積書には含めない
こととする。プロポーザルには指定された定額の範囲内で当該業務に対する提案を記載し、当該提案はプロポーザル評価の対象とする。

(5) 試行から本格導入に向けたスケジュール

2023年1月～6月の公示日分までを試行期間とする。

2023年7月からの本格導入予定。

3. 上限額提示の試行導入

【例：企画競争説明書上の上限額の説明】

【見積書作成にかかる留意事項】

(2) 上限額について

本案件における上限額は以下のとおりです。上限額を超えた見積が提出された場合、同提案・見積は企画競争説明書記載の条件を満たさないものとして選考対象外としますので、この金額を超える提案については、プロポーザルには含めず、別提案・別見積りとしてプロポーザル提出時に提出ください。別提案・別見積りは技術評価・価格競争の対象外とし、契約交渉時に契約に含めるか否かを協議します。また、業務の一部が上限額を超過する場合は、以下の通りとしてください。

- ①超過分が切り出し可能な場合：超過分のみ別提案・別見積りとして提案してください。
- ②超過分が切り出し可能ではない場合：当該業務を上限額の範囲内の提案内容とし、別提案として当該業務の代替案も併せて提出してください。

(例)

セミナー実施について、オンライン開催（上限額内）のA案と対面開催（上限超過）のB案がある場合、プロポーザルでは上限額内のA案を記載、本見積にはA案の経費を計上、B案については、別提案においてA案の代替案であることがわかるように説明の上、別提案として記載し、B案の経費を別見積りにて提出。

【上限額】

〇〇〇〇〇〇〇円（税抜）

なお、定額計上分 〇〇〇〇〇〇〇円（税抜）については上記上限額には含んでいません。定額計上分は契約締結時に契約金額に加算して最終見積書を提出いただき契約しますので、プロポーザル提出時の見積りには含めないでください。プロポーザルの提案には指示された定額金額の範囲内での提案を記載ください。この提案はプロポーザル評価に含めます。

※上記の上限額は、下記（3）別見積としている項目を含みません。

(3) 別見積りについて（評価対象外）

以下の費目については、見積書とは別に見積金額を提示してください。

- 1) 旅費（その他：戦争特約保険料）
- 2) 一般業務費のうち安全対策経費に分類されるもの
- 3) 新型コロナウイルス感染対策に関連する経費
- 4) 直接経費のうち障害のある業務従事者に係る経費に分類されるもの
- 5) 上限額を超える提案に関する経費
- 6) 定額計上指示された業務につき、定額を超える提案をする場合の当該提案に関する経費

3. 上限額提示の試行導入

(4) 定額計上について

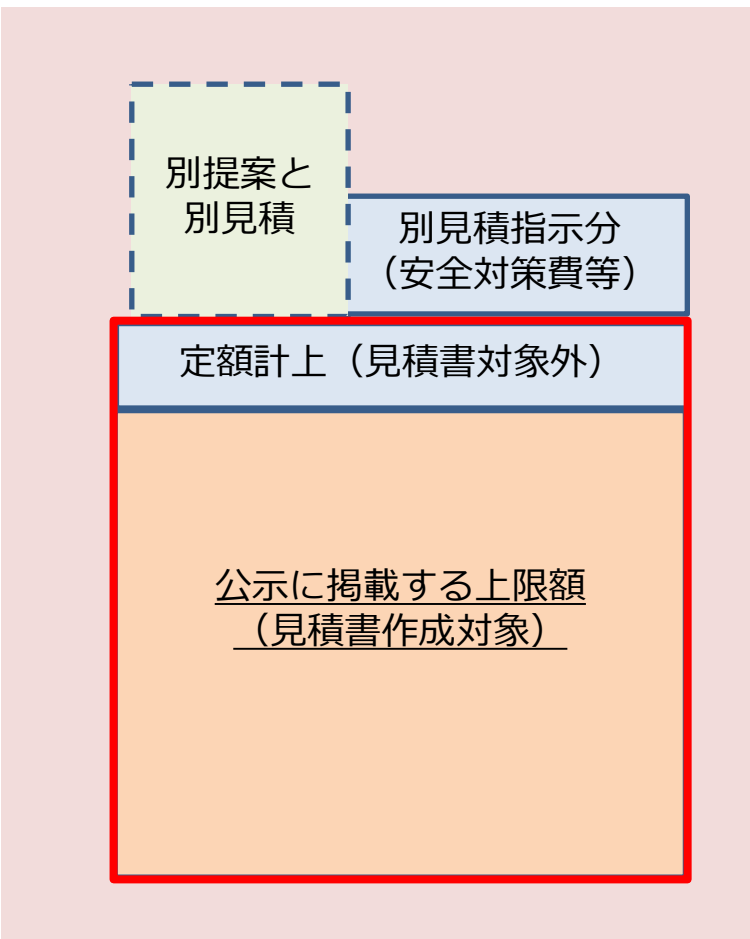
定額計上した経費については、定額の金額のまま計上して契約をするか、プロポーザルで提案のあった業務の内容と方法に照らして過不足を協議し、受注者による見積りによる積算をするかを契約交渉において決定します。

定額計上した経費については、証拠書類に基づきその金額の範囲内で精算金額を確定します。

【定額計上の記載例】

No.	対象とする経費	該当箇所	金額 (税抜き)	金額に含まれる範囲	費用項目
1	水質の調査に係る調査補助傭人の備上	「第2章 特記仕様書案 6. 業務の内容(6) 水質モデルの諸条件調査」	1,000,000円	補助員人件費、出張旅費(日当・宿泊費)	一般業務費 特殊傭人費
2	環境影響評価調査に係る経費	「第3章 プロポーザル作成に係る留意事項 2. 業務実施上の条件(3) 現地再委託」	10,000,000円	環境調査費一式	再委託
3	現地セミナー開催費	「第2章 特記仕様書案 6. 業務の内容(6) ●●●」	20,000,000円	参加者の出張旅費(交通費、日当・宿泊費)、会場借上費、●●費	再委託

<赤枠内がプロポーザル評価の対象>



4. その他（技プロのQCBS試行結果）

＜技プロのQCBS適用試行案件（上限額提示、下限設定せず）は以下の通り。＞

公示日	契約件名（ 公示ウェブサイト ）	担当事業部
8月31日	パキスタン国パンジャブ州道路アセットマネジメントシステム能力向上プロジェクト	社会基盤部
9月21日	タジキスタン国プライマリ・ヘルスケアの質の改善プロジェクト	人間開発部

＜これまでの試行結果＞

【パキスタン案件】

- ・2者応募、各見積額は上限額の80%と75%。価格逆転はなし。
- ・技術点は100点満点中、82.3点と79.8点。上限額設定による質の低下なし。
- ・別提案・別見積：2者中、1者より提案有り。契約交渉にて、別提案・別見積内容を検討・協議した結果、その優位性及び費用対効果を認め、別提案・別見積部分を受け入れて契約締結することとした。
- ・その他特記事項：競争参加者からダンピングの可能性を懸念したとの意見があり、また、上限額の80%を下回る見積もあったことから今後は下限額を設けることとした。

【タジキスタン案件】

- ・1者応募。見積額は上限額の93%。
- ・技術点は100点満点中、77.6点。上限額設定による質の低下なし。
- ・別提案・別見積：有り。契約交渉にて、別提案・別見積内容を検討・協議した結果、その優位性及び費用対効果を鑑み一部の別提案・別見積を受け入れて契約締結することとした。
- ・その他特記事項：競争参加者から、企画競争説明書から定額計上の範囲が読み取りづらい、別提案・別見積の切り出し方のルールが曖昧であり、応募者側からの任意設定では公平な競争が難しいのではないか、という意見があり、この点を踏まえて企画競争説明書に考え方を明示することとした。

上記試行を踏まえ、次の試行案件（年明け公示予定）では上限額の8割を下限とする（価格点の満点する）価格点算出方法（今回、QCBS及び総合評価案件で導入する価格点算出方法に同じ）に変更予定。